

選評 | たくさんのご応募ありがとうございました。

ご応募いただいた写真総数 3,559 点の中から大賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 5 点を選考し、受賞作品の選評をいただきました。

大賞

3・4月



桜と十石舟

奈良県・吉田数政さん

選評

京都伏見の十石舟は、四季折々にそれぞれ見どころがあり、とくに桜の季節は格別。なかでもこの作品は満開の桜の下を静々とやって来る十石舟を、真正面から堂々と捉えていて見事です。水面に広がる波も効果的で、舟の動感による春の表現が功を奏しました。桜の色を反映した川面が幻想的に染まり、見る者を絢爛たる世界にいざなってくれます。

優秀賞

7・8月



紺碧の海に浮かぶ旧市街

埼玉県・ペンネーム花火人さん

選評

まさに紺碧と呼ぶにふさわしい海の深いブルーがきれいに再現されています。対照的に明るい色彩の市街地がぼっかりと海に浮かび、精密に描写された街並みの細部はまるでジオラマのように美しく、見飽きることがありません。たいへんスケールの大きい風景ですが、シャッターチャンスも的確で、海に点在する船の位置にも細かな神経が払われています。

優秀賞

11・12月



雪灯り

千葉県・石崎敦子さん

選評

有名な岐阜県白川郷での夜景撮影。雪化粧された何本かの大きな樹木の隣に、バランス良く合掌造りの建物を配したセンスが光ります。露出の設定も適切で、背景の稜線と山肌の調子が潰れてしまうことなく、画面に奥行きと薄霧の雰囲気とともに再現できました。懐かしい童話の世界であり、日本人の郷愁を誘う故郷の原型ともいえる素敵なお風景です。

佳作

1・2月



森の滝・スコガフォス

愛知県・ペンネーム岡崎市の鈴木ですさん

選評

日本では見ることのできないスケールの大きな氷瀑です。この迫力も比較対象になる物があって初めて発揮されます。この作品では画面の遠近にとっても良いバランスで人物を配置し、滝の大きさを表現して成功しています。深く絞り込んだシャープなピントも適切です。

佳作

5・6月



田植えを待つ扇棚田

福岡県・鹿島和生さん

選評

日本の棚田百選のひとつ、熊本県阿蘇地方の扇棚田。絵のように三本並んだ杉とともに見事な景観を作り出しています。朝もやの漂う撮影時間帯を選んだことも良かったですね。田植え前の鏡のような棚田が輝いて強い存在感を出し、とても見応えがあります。

佳作

9・10月



一ノ倉沢の紅葉

東京都・相馬昭夫さん

選評

風景写真で数々の傑作を生み出した谷川岳一ノ倉沢の絶景。真っ赤に染まった紅葉と荒々しい岩肌との二重構成に、手前の堰堤や人物を加えてリアルなスケール感を出しています。垂れ込めた雲が岩壁を隠し、さらに高くそびえ立つ山の頂を想像させてくれます。

佳作

ファンタスティックな水没林

茨城県・ペンネーム羊雲さん



写真仲間とあちこちめぐっています。撮影を始めた頃は雪は降っていませんでしたが、進んでいるうちに少しずつ降り始めたため「今がチャンス」と思いシャッターを切りました。雪がきれいに映るか半信半疑でしたが、理想通りに収めることができました。

選評

水没林で有名な湯西川ダムに雪が降り始め、タイトルどおりの幻想的な光景が出現。絶好のチャンスを得て素晴らしい作品に仕上げました。黒い水面と白い氷が織りなす曲線の美しさ、立木とのバランス、降雪の描写など、すべてが申し分なく調和して美しいですね。

佳作

ブルタバ川からのプラハ城

茨城県・小森孝敏さん



学生時代に好きだったスメタナの交響詩「わが祖国」。50年の時を経て夢がかない、チェコのプラハを訪れました。目の前にはモルダウ(ブルタバ)の流れ。曇っていた空にいつか光が差し、プラハ城までの美しい街並みが浮かび上がってきたところをカメラに収めました。

選評

美しさと世界有数の大きさを誇る世界遺産プラハ城。その雄姿を、望遠レンズによる圧縮効果を駆使して巧みに切り取り、尖塔の特長と街の屋根の美しい色を際立たせています。手前のフェンスや人物のシルエットもとても効果的な前景として城を引き立たせました。